

■2017東京都議会議員選挙 会派マニフェストのできばえチェック表

基本項目		配点	項目	会派名							
				自由民主党	公明党	民進党	東京維新の会	日本共産党	都民ファーストの会	生活者ネットワーク	
①理念・ビジョン	ありたい東京都の姿（理念・ビジョン・将来像）が示されているか	10	点数	6	5	6	7	5	5	6	
	ありたい東京都の姿の根拠・着眼点が示されているか		コメント	「世界で一番の都市に」というスローガンのもと、安全・安心、活気・発展の2つのビジョンにまとめられている。総花的ではあるが、豊洲市場への移転についても方向性を明示している。	安全・安心、誰もが生き生き、新たな活気のある3つの都市像が示されている。また、都民とともに東京改革とのスローガンもあるが、やや抽象的。豊洲市場については会派としての方向性は打ち出していない。	重点型のマニフェストであり、都としてのビジョンは特に示されていないが、子どもファーストや密室型政治に終止符を打つなど、個別のスローガンを提示している。	ロンドンの都市構造をもとに、「グレート東京」というビジョンを掲げている。ただし、まちのビジョンというよりは統治機構のあり方。豊洲市場については、早期移転の立場を鮮明にしている。	豊洲市場の移転中止・築地市場の本格的再整備を第一に掲げる。都民のくらしと福祉を最優先、が理念となっているが、これはある意味当然のことであり、それをまちのビジョンとしてどう描くか。	会派名の通り「都民ファースト」を第一に掲げ、情報公開、賢い支出などのキーワードを並べている。スローガンとしては明確だが、まちのビジョンとしては総花的な印象が残る。	「一人ひとりを大切に人権のまち」が掲げられているが、5つの重点政策+1には明記されておらず、政策集をたどらなければならない。豊洲市場については移転反対の姿勢を明記している。	
	東京都としての課題が捉えられているか										
②政策の体系性・一貫性・独自性	ビジョン・方針・政策が体系化されているか	10	点数	6	7	6	6	6	6	6	
	相互に矛盾する内容が無定見に盛り込まれていないか		コメント	体系的ではあるが、ビジョン自体が総花的なこともあり、概ね現状の都政に沿う形で網羅的に政策が示されている印象が強い。経済政策以外には、重点・独自性は見出しにくい。	15分野53項目の重点政策が、3つの都市像に沿って小見出しごとに整理されている。重点化されていてわかりやすい。	7つの重点政策を基本に構成されており、体系的なマニフェストではないが、独自色は出ている。やりたいことはわかりやすい。	統治機構改革に向けて取り組むべき権限移譲や民営化などを掲げた上で、権限移譲後は職員・議員を削減する方向性を打ち出している。さらに、都の政策、市区のための政策を整理している。	8つの重点公約として、築地市場とオリンピック・パラリンピックを始め、福祉・医療・教育などが体系的に位置付けられている。ただし、原発政策や9条改憲など、国政の課題も重ねられている点は疑問。	14の基本政策と321の政策が体系的に整理されている。条例をつくるという提案が多くを占めるが、条例の内容については必ずしも明確ではなく、何を重点化するかがわからない。	政策集においては、理念・ビジョンをもとに10の柱に体系的に政策が整理されており、独自の視点・政策も見られるが、重点政策として打ち出されているものは散発的で抽象的な印象。	
	独自の政策が示されているか										
③政策の具体性・実現可能性	政策の目標・期限・実現方法（工程）・財源などが明示されているか	10	点数	4	5	3	4	3	4	4	
	達成度・成果の事後検証は可能か		コメント	全体的に目標・期限・工程・財源は示されておらず、実現可能性を判断しにくい。特に、オリンピック・パラリンピックについては整備の加速を掲げるだけで財源については思い切った提示をしているが、2000億円プランを含めて、財源の裏付けはあいまい。	全体的に目標・期限・工程・財源は示されておらず、実現可能性を判断しにくい。ただし、施策・事業レベルで具体的に示されているものがあり、その点はやりたいことがわかりやすい。	7つの重点政策について、それぞれ施策・事業レベルで具体的な内容を書き込んでありわかりやすい。ただし、子どもファーストや家賃補助、ホームドア設置、災害対策など、かなりの新たな財源の支出を伴う政策が多いが、財源の裏付けが明確でない。	特に市区のための政策については、待機児童解消、教育費無償、高齢者住宅政策など、かなりの財政支出を伴う政策が掲げられている。その財源については、大胆な民営化と職員・議員の削減によるものとされており、財源の見込みは立てられているが、その実現可能性自体が難しい。	予算の組み替えで対応できると主張している。予算の2.8%の組み替えで63項目の施策を実現する提案を行ったことを引き合いに、実現可能なことをアピールするが、今回の8つの重点政策を実現するための財源については示されていない。	知事の実績を踏まえ、議会として実施可能な条例づくりで政策がまとめられている。議会が多数派を形成できれば実現可能性は高い。ただし、上述の通りどのような条例にするのか、という中身が問題であり、また知事の実績を強調する点も、議会会派のマニフェストとしてどうか。	重点政策については、目標・期限・工程・財源は示されておらず、実現可能性を判断しにくい。政策集については、政策の背景となり現状と課題がよくまとまっているが、政策についてはスローガ的な提示にとどまり、具体性・実現可能性を判断できる示し方にはなっていない。	
	目標・政策の実現可能性について、合理的な説明がされているか										
	実行体制・実行プロセスは示されているか										
④市民起点度	読み手に取ってわかりやすい工夫はされているか	10	点数	3	2	4	3	2	4	2	
	マニフェストの配布・周知の工夫はされているか		コメント	政策パンフレットは見やすくまとまっているが、配布・周知の工夫や策定プロセスにおける都民参加などの配慮は特段見られない。	配布・周知の工夫や策定プロセスにおける都民参加などの配慮は特段見られない。	ピラを意識してか、A4裏表1枚にまとまっており、見やすい。ただし、配布・周知の工夫や策定プロセスにおける都民参加などの配慮は特段見られない。	A4裏表1枚にまとまった概要版があるが、ポイントがややわかりにくい。配布・周知の工夫や策定プロセスにおける都民参加などの配慮は特段見られない。	概要版等は作成されおらず。ホームページでテキストをダウンロードできるようにしているのみ。配布・周知の工夫や策定プロセスにおける都民参加などの配慮は特段見られない。	パンフレットはポイントがわかりやすく整理されており、みやすい。インパクトもある。配布・周知の工夫や策定プロセスにおける都民参加などの配慮は特段見られない。	特設のホームページがあり、そこに重点政策や政策集が掲載されているが、会派のホームページから飛べないのは致命的。また、重点政策のまとめ方・示し方が少し雑ではないか。	
	策定過程において都民の提案を組み込むプロセスを有しているか										
⑤議会機能能力	知事と議会の間二元代表としてのスタンスが保たれているか	10	点数	0	3	6	1	4	6	2	
	都民の声を吸い上げて都政に反映する仕組みが提案されているか		コメント	議会改革については触れられていない。	議会改革の項目が立てられ、5つの改革項目が示されているが、周回遅れの改革項目にとどまる。	重点政策の1つに掲げ、情報公開をキーワードとして一連の政策を提案している。また、議員定数・報酬の削減や議員評価システムなどの提案も行っている。	都の権限移譲を行えば議員も削減できるというロジックでの議員削減が掲げられており、議会としての機能をいかに改革するか、という観点では政策は掲げられていない。	政務調査費を飲食や新年会等に使用することを禁止したり、海外視察を抑制した入りすることを中心に、透明化に向けた提案がされている。	ふるい都議会にNO！として、質問原稿など悪しき慣習に正面からメスを入れている。ただ、築地市場問題で「知事の見解を尊重」という文言があり、二元代表制の観点から疑問が残る。	重点政策の第一に議会改革が掲げられているが、抽象的な内容にとどまっている。どのようにひらかれた都政にするのか、具体的な改革内容の提示が必要。	
	議会が自らの活動を見直す提案が示されているか										
計		50	点数	19	22	25	21	20	25	20	
		100	点数	38	44	50	42	40	50	40	
	総合コメント			ビジョンを掲げ、体系的な政策を示している点は、多数派の会派のマニフェストとしてまとまっているといえる。パンフレットとしてもみやすく整理されている。ただし、一般的に目標・期限・工程・財源の提示がなく、総花的な印象をぬぐえない。オリンピック・パラリンピックの推進及び経済政策に関しては積極的な政策提案を行っているが、財源の見込みについてはあいまいである。冒頭に安倍総裁の挨拶があり、国政に重ねて見せようとしている点、及び議会改革に関してまったく触れられていない点は、地方議会議員選挙のマニフェストとしては適切とはいえない。	15分野53項目に重点化されており、施策・事業レベルで示されているものもあり、会派としてやりたいことが比較的わかりやすい。受動喫煙防止については、罰則規定を持った条例を制定するなど、思い切った提案もある。議会改革についての項目もあるが、周回遅れともいえる基本的な改革項目にとどまっており、「都民とともに東京改革を断行する」というスローガンとは距離がある。議会によるチェック体制を確立するといった文言もあるが、議会そのものの信頼性が問われている今、議会改革への踏み込みが十分とはいえない。	7つの重点政策に重点化され、それぞれ具体的な施策案が提示されており、わかりやすい。カジノにNO、など、都政の大きな方向性に係る意思表示も含まれている。ただし、子どもファーストなど、かなりの新たな財政支出を必要とする項目が多いが、財源の裏付けが明確でない。実現可能性の問題にとどまらず、信頼性に関わるのではない。議会改革に対して積極的な姿勢を提示している。特に、議会の透明性を高めるような項目が多く掲げられており、議員定数・報酬の見直しや議員評価システムの導入など、自らの襟を正そうとする改革項目を挙げている点は評価できる。	都の権限・財源・人を市・区や民間に移す、という統治機構改革の方向性が明確に打ち出されている。豊洲市場の移転についても、決断が延びることにより発生するコストを強く意識して、早期移転に向けた意思表示と行動を早くからしている。ただし、まちのビジョンについてははつきり示されておらず、多くの権限を手放した後の都の役割であるはずの広域行政に関する都市戦略や交通インフラなどの政策は提示されていない。産業政策もやや一面的であり、都市としてのまとまりが感じられない面がある。その中にある大胆な権限移譲・民営化の推進には不安も残る。	豊洲市場の移転中止・築地市場の本格的再整備を明確に打ち出している。築地市場の移転や外環道の延伸などについて、他の会派のスタンスを個別に批判し、独自性を打ち出している。福祉・医療・教育などの分野にかなりの財政支出を伴う政策提案が行われており、その財源を開発抑制の予算の組み替えで本当に対応できるのか、もう少し踏み込んだ説明が必要。議会の機能を高める改革項目というよりは、日本共産党を伸ばすことが目的化している面があり、9条改憲や原発政策など国政の課題を重ね合わせている点も、都議会議員選挙のマニフェストとしてふさわしいか、疑問が残る。	現都議会への痛烈な批判がダイレクトな表現で改革項目として書き込まれており、現都議会との対決姿勢が明白。これまで多くの議会がタブーとされてきたことにも切り込んでおり、大きな議会改革のうねりになることが期待される。ただし、知事の実績を会派の政策立案の根拠としてあからさまに掲載してしまうことも従来ではタブー視されていたものであり、二元代表制の政治原理を根本から否定するマニフェストでもある。都民ファーストの名目のもとで、実は政局が最も如実に映し出されたマニフェストということもできる。条例づくりはやや抽象的であり、具体的な政策の中身とそのための財源を精査する必要がある。	人権や多様性を重視し、情報公開と市民自治によるボトムアップの都政改革を目指す方向性は明確でわかりやすい。政策集も比較的良好にまとまっているが、都民がよく目にするようになるであろう重点政策へのまとめ方が雑な印象がある。重点政策や政策集が掲載されているホームページも、会派のホームページから飛ぶことができず、一般的に都民に政策を届けることに対して配慮が足りない面が否めない。受動喫煙防止対策については、現状と課題を整理した上で視点を明確にし、条例の骨子案まで具体的に提示している点は評価できる。	

採点: 10点……条件を満たしている
 ↓
 0点……条件を満たしていない

▽条件を満たす割合に応じて配点
 (例)条件の8割程度満たしている:8点
 条件の3割程度満たしている:3点 等

※評価は、東京都議会のウェブサイト「会派構成・会派略称一覧」に掲載された団体のうち、6月19日時点で会派等ウェブサイトにも都議選向けの政策が掲載された会派を対象とした。